



# THE JTSU-E JOURNAL



公式ホームページ 公式SNS (X)

所在地: 〒135-0044 | 電話: 03-6458-5603 | H P: http://jtsu-e.com | 発行人: 佐々木 宏 充 2024年 12月13日 第58号 月1回発行/1部20円 (組合員の購読料は組合費に含む)  
東京都江東区越中島3-5-10 | F A X: 03-6458-5605 | メール: union@jtsu-e.com | 編集人: 奥 富 亨

## JR東日本千葉支社管内で初めて輸送サービス労組の分会が起ち上がる!!

# 11/26 船橋統括センター分会結成



“千葉の地”からもすべての仲間と共に  
輸送サービス労組運動をつくり出そう!

### 千葉・八王子・大宮・東京の仲間が結集

### 組合員の拠り所となる分会を結成!

11月26日、越谷コミュニティセンターで「船橋統括センター分会 結成大会」を開催し、千葉の地で輸送サービス労組の分会を初めて結成しました。

本大会には、船橋統括センター乗務ユニットの所属となつた八王子地本武蔵野運輸区分会京葉派出班、大宮地本さいたま車掌区分会、東京地本京葉運輸区分会をはじめ、総勢40名を超える仲間が結集しました。大会討議では、寝室の環境や食食用備品の改善、長時間・長距離乗務（運転士泊460越超え、日勤360越超え、車掌泊500越超えなど）の改善、連続乗務時間（ロングラン）の是正・短縮を求める切実な声のほか、船橋統括センターだけでなく千葉の各地にいる組合員・仲間とも連帯し、輸送サービス労組運動をつくり出していく決意が述べられました。

今回、結成した船橋統括センター分会は、輸送サービス労組が千葉に地本を結成してないことから、中央本部JTSU-E千葉エリアプロジェクトに所属する分会となります。これを踏まえ、JTSU-E千葉エリアプロジェクトは、千葉の地で奮闘し続けている組合員とすべての仲間と連帯し、組合員の雇用・利益を守り、すべての仲間の労働条件の向上をめざしていきます。

### 4支社をもまたがった

### 総勢70名にも及ぶ大規模異動

12月1日、JR東日本千葉支社は「千葉支社の現業機関の柔軟な働き方」施策による現業機関の再編を実施し、蘇我運輸区が茂原統括センター・蘇我乗務ユニットへと変わり、蘇我運輸区京葉派出所の全行路が船橋統括センター乗務ユニットへ移管しました。また、これに伴って蘇我運輸区京葉派出所に加え、大宮支社さいたま車掌区、首都圏本部京葉運輸区から行路移管を行い、70名規模の人事異動を行いました。

## ようこそ

### 組織拡大

～第7回定期大会以降～

# 8名加入!

### 加入した仲間たちの声

- ◆ かねてから組合の必要性を感じていた、良い会社をつくるためには労働組合が必要だ!
- ◆ 日勤に降ろされた中でも職場の仲間が気にかけてくれ、関わりを持ってくれた!
- ◆ 落ち込んだ時に声をかけて支えてくれた、仲間のあたたかさを実感した!

組合員のための輸送サービス労組へ、すべての仲間の結集を!

▼2024年も年の瀬を迎え、多くの若者が新たな門出を前に、夢や希望を抱き社会に飛び出す準備に追われる。また親は我が子を社会に送り出すことへの不安が入り混じり、とにかく「幸せになって欲しい」と願うばかりではなかるうか。▼近年、引越しを伴ういわゆる「どこでも転職」に拒否感を抱く若者が増えているという。理由は生活環境の変化、育児や介護などに重きを置き「居住地や自分らしさ、家族との時間の重視、不本意な転職に対する退職の選択」とのことだ。生活と労働に対する考え方の変化に伴い、当然企業も対策を講じなければならぬ。▼JR東日本の生産性向上、効率化のみを主眼に置いた人事施策、「社員に寄り添わない企業経営」では、ワーク・エンゲージメントの向上や帰属意識は決して生まれないことを、肝に銘じるべきである。▼社員が働きがいを感じ、地域から愛される企業とは何か。労働者の声に耳を傾け、健全な企業としての「変革」を切に願うばかりである。(H・S)





2024年もあと少しで終わろうとしています。皆さんはこの一年をどのように振り返りますか。この1年を振り返ると輸送サービス労

組は、2024年春闘において過去最高水準の賃上げ(16,973円)を実現し、期末手当交渉を堂々とたかひ、さらには年末に示された処遇改善では、これまでの要求の一部を実現しました。また、脱退パワハラ訴訟では、東京高裁において、JR東日本での管理職による脱退強要の不当労働行為と、18春闘下にくつかの職場で「脱退勧奨が行われた可能性が高い」との認定を勝ち取った勝利判決が確定し、「あつたことをなかつたことにはできない」が結実した節目の年となりました。他方、JR東日本会社は高輪グレートウェイシティやJREバンクなどの華やかなニュースの一方で、みどりの窓口混雑問題やダイヤ改正での減便などは、多くの利用者にとって不便をおかけする事態となりました。また、安全面では、新幹線の度重なる事故・事象や、電車の輪軸圧入力の不正・改ざん・隠蔽などで利用者からの信用は揺らいでいます。また、統括センター化や「融合と連携」が進む中で、業務量の増加と要員不足によって、疲弊している社員が目立つようになってきました。私たちが最大の課題としている労組ハラスメントは今年も相次ぎ、人事要員施策と組み合わせて、優れた社員や管理者の異職種での長期間にわたる就業や、ジョブローテーション施策による配置転換など、鉄道業の本分をおさげにしています。さらに各職場の過半数代表者選挙では、労組への誹謗中傷が行われ、池袋統括センターでは、社友会会員への経費援助まで発覚しました。残念なことですが、JR東日本における労務管理は「ふてきせつ

## 2024年を振り返り、2025年をスタートする決意を今こそあらゆる不条理にはあらゆる手段で立ち向かおう!

と揶揄されるほど前時代的です。世界の潮流は「脱炭素の次は人権が来る」と言われているほど、働く者の人権を守ることが注目されています。JR東日本会社は今夏「国連グローバル・コンパクト」に署名したことを公表しましたが、自ら「10の原則」に違反しており、経営責任を取るべきです。これらの古典的な労務管理の背景には、企業内の人権デュー・デリジエンスが全く機能していないことが挙げられます。しかし、そのことにとどまらず、ハラスメントに沈黙する者、傍観する者、代理人状態の者の存在によって、人権を蹂躪した労務管理が野放しにされています。その下支えの最たる存在が、会社のパートナーを標榜する社友会と言えます。

輸送サービス労組は、「労組ハラスメントは許されないとするJR東日本のスタンダードを築くために、今後もあらゆる手を尽くして立ち上がることを約束します。そして、このような不条理には決して屈しない決意を固めることを全組合員に訴えます。なぜなら、被害を受けているのは組合員であり、組合員の不利益を解消させることを抜きにして、健全なJR東日本・グループ会社はつくられないと確信しているからです。

先日、ジェイアールバス関東労組の仲間が不当労働行為とたたかっている姿を見て「このような不条理を続けさせない!」「私たちが負ける時は、声を上げることを止めた時だ、絶対に負けないぞ!」と決意を打ち固める機会となりました。輸送サービス労組は来年2月、結成5周年の節目を迎えます。この5年間でJTSU議員懇談会の会員は37名になるなど連帯の輪は大きく広がっています。私たちは結成の原点を忘れず、人間にしかない「共感力」を大切にしましょう! 皆さん、良い年をお過ごしください。

## 12/6 全機関役員会議開催「2025春闘」に向けた意志統一を行う!

- 「JTSU-E2025 “春” 具体的取り組み」
1. “命をあずかる労働”を担う自覚と責任に踏まえ、JR東日本の安全性再確立を実現させ、地域と社会に必要とされるJR東日本を創造する取り組み
    - (1)連続して発生し続ける事故と事象に真摯に向き合い、すべての仲間の命と家族を守り抜くために、安全最優先の信頼されるJR東日本経営を実現する
    - (2)安全性と利便性を置き去りにする長編成ワンマン運転開始に反対し、利用者の安全と安心を基礎に、未来の鉄道のあり方を検討する
  2. 全職場から創造する“日常活動”を通じて、JR東日本輸送サービス労働組合の飛躍と真の笑顔と活気あふれる職場を創造する取り組み
    - (1)国連が指導する「ビジネスと人権」の精神を基礎に、一切の労組ハラスメントと不法行為を根絶させ、人権無視のジョブローテーション撤廃とJR東日本輸送サービス労働組合への結集を実現する
    - (2)2024年度年末手当の低水準を打ち破り、労働実態に即した諸手当の実現と総合労働条件改善、好業績の背景にある職場の努力と労働の価値を正当に評価した“賃金のベースアップ”を「2025春闘」において実現する
    - (3)「統括センター」化による労働の複雑化や業務量を検証し、働きがい・生きがい・こころの豊かさが保障される輸送サービス労働を実現する

本部は12月6日、滝野川会館において全機関役員会議を開催し、賃金のベースアップに向け「2025春闘」を全組合員でたたかい抜く方針を全体で確認しました。安全性再確立はもちろん、人権を無視したジョブローテーションの撤廃、労組ハラスメントと不法行為の根絶など、職場で発生する課題を解決し、働きがい・生きがい・こころの豊かさが実感できる職場を実現させるためにも、すべての仲間と共に職場から輸送サービス労組運動を構築する必要があります。

職場の声無き声に耳を傾け、私たちの主張を職場の隅々まで浸透させ「2025春闘」勝利と職場の課題解決をめざします。



**STOP! 企業倫理の逸脱 NO! 企業犯罪**

**第三者機関を活用した取り組み 不当労働行為救済申立て**

- 水戸地本からの申立て (2023年 3月13日提出)
 

次回、第7回調査は東京都労働委員会において2025年2月19日(水)10時30分からの予定です。
- 東京地本からの申立て (2022年 11月25日提出)
 

次回、第8回調査は東京都労働委員会において2024年12月23日(月)10時30分からの予定です。
- 八王子地本からの申立て (2023年 1月18日提出)
 

次回、第8回調査は東京都労働委員会において2025年1月9日(木)10時00分からの予定です。

**安全に安心して働ける JR 東日本を取り戻すため、すべての仲間と健全な経営を実現させよう!**

**JETS** 申15号 2024年度年末手当に関する申し入れ  
 JR東日本運輸サービス 2024年11月21日 **妥結の判断を行う!**

<b>正社員</b> <small>(JR 出向・JROB を除く)</small>	基礎額の <b>2.5ヶ月+9万円</b> 平均基礎額 (基本給・職能給): 約 212,000円 平均支給額: 約 620,000円
シニアB	15万円
シニアC	基礎額の 2.5ヶ月+9万円
契約社員	20~30万円 (勤続年数による)
パートタイマー等社員	4~8.5万円 (週契約労働時間数による)

※2024年10月1日の特別契約社員は、契約書月額額の0.5ヶ月を支給する。  
**支給日: 12月6日(金)以降準備出来次第**

**【労使交渉における合意事項】**

- ・JRからの労務単価費や業務受託費の適正化の協議を深め、その利益として得た業務収益を原資として社員還元の実現を図っていく。
- ・回答は、組合の意見を踏まえ、物価高や生活実感を考慮要素として、社員の働きがい・生きがいを持てるようにしたものである。
- ・今回の回答水準は昨年と同様だが、支給額を大幅に増加させている。今後も賃金をはじめとした総合労働条件の改善が不可欠であり、労使議論を引き続き取り組んでいく。